

グラフェンの世界

-炭素のナノシートが拓く未来-

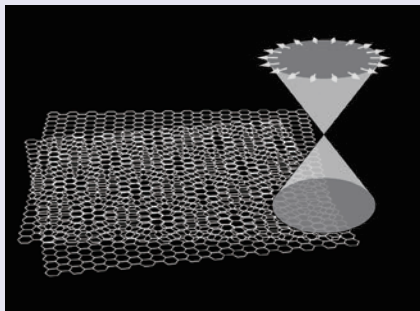
グラフェンの物理学： 厚さ 100 万分の 1mmの物質



グラフェンは炭素原子1個の厚さからなる究極の薄膜です。グラフェンの電子は「質量のない相対論的粒子」として振る舞い、様々な不思議な物性を引き起こします。また最近の研究では、2枚のグラフェンを回転させて重ねると、グラフェン同士のモアレ干渉模様が超伝導をもたらすこともわかっています。この講演では、様々な不思議な物理現象を通してグラフェンの魅力に迫ります。

越野 幹人氏

大阪大学
大学院理学研究科
物理学専攻
教授



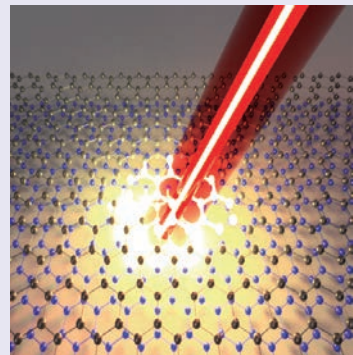
グラフェンの発光と その制御



グラフェンは特異な電子状態をもち、高い電気伝導性などの興味深い性質を示します。光放出の観点からもその特異な電子状態がよく生きていて、高速な発光素子の実現が期待されています。実際にデモンストレーションが報告されています。一方で、そもそもグラフェンは発光を放つのか、ということをしばしば聞かれます。本講演では貴金属の発光現象も交えながら、グラフェンの発光とその制御について紹介します。

小山 剛史氏

名古屋大学
大学院工学研究科
応用物理学専攻
准教授



2023年

12月16日(土)

13:00~15:00

プログラム

13:00 - 開会

講演 1 **グラフェンの物理学：
その1 厚さ 100 万分の 1mmの物質**
越野 幹人氏（阪大理学研究科物理学専攻）

14:00 -

講演 2 **グラフェンの発光とその制御**
その2 小山 剛史氏（名大工学研究科応用物理学専攻）

15:00 - 閉会

参加費
無料

申込制

右のQRコードから
Teamsウェビナー
の参加登録をしてください。



お申し込みこちらの QR コードから →
またはこちらをクリック

問合先

日本物理学会名古屋支部 支部長 田仲由喜夫
✉ jsps_nagoya@rover.nuap.nagoya-u.ac.jp

なお参加登録していただいた個人情報は、本講演会に関わる目的にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。

主催：日本物理学会名古屋支部

後援：名古屋大学高等研究院（申請中）